

# キリスト 『日本基督教団信仰告白』

我らは信じかつ告白す。旧新約聖書は、神の靈感によりて成り、キリストを証し、福音の真理を示し、教会の<sup>よ</sup>拠るべき唯一の正典なり。されば聖書は聖霊によりて、神につき、救いにつきて、全き知識を我らに<sup>あた</sup>与うる神の<sup>ことば</sup>言にして、信仰と生活との誤りなき規範なり。主イエス・キリストによりて啓示せられ、聖書において証<sup>あかし</sup>せらるる唯一の神は、父・子・聖霊なる、三位一体の神に<sup>さんみいつたい</sup>ていましたもう。御子は我ら罪人の救いのために人となり、十字架にかかり、ひとたび己を<sup>おのれ</sup>全<sup>まった</sup>きいけにえとして神にささげ、我らの<sup>あがな</sup>贖いとなりたまえり。神は恵みをもて我らを選び、ただキリストを信ずる信仰により、我らの罪を赦して義としたもう。この変らざる恵みのうちに、聖霊は我らを<sup>きよ</sup>潔めて義の<sup>ぎ</sup>果を<sup>み</sup>結ばしめ、その御業を<sup>みわざ</sup>成就<sup>じょうじゆ</sup>したもう。教会は主キリストの<sup>おおよけ</sup>体にして、恵みにより召されたる者の集いなり。教会は公の<sup>ばんさん</sup>礼拝<sup>せいれいてん</sup>を守り、福音を正しく宣べ伝え、バプテスマと主の晩餐との<sup>と</sup>聖礼典<sup>おこな</sup>を執り行い、愛の<sup>よよ</sup>わざに<sup>きた</sup>励みつつ、主の再び来りたもうを待ち望む。我らはかく信じ、代々の聖徒と共に、使徒信条を告白す。

我は天地の<sup>つく</sup>造り主<sup>ぬし</sup>、全能の父なる神を信ず。我はその<sup>ひと</sup>独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、<sup>おとめ</sup>処女マリヤより生れ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて<sup>よみ</sup>葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に<sup>ざ</sup>座したまえり。かしこより<sup>きた</sup>来りて生ける者と死ねる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の<sup>ゆる</sup>交わり、罪の赦し、体のよみがえり、とこしえの<sup>いのち</sup>生命を信ず。  
アーメン。